

# 大正製薬リポビタン 第46回全国選抜高校テニス大会 実施要項

共 催 (公財)日本テニス協会、(公財)全国高等学校体育連盟

主 管 全国選抜高校テニス大会実行委員会

後 援 スポーツ庁、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、九州テニス協会、  
福岡県高等学校体育連盟、RKB 毎日放送

タイトルスポンサー (特別協賛) 大正製薬 **リポビタン**

スペシャルパートナー アメアスポーツジャパン株式会社

**Wilson**

プラチナパートナー  BNP PARIBAS

運営協力 福岡県高等学校体育連盟テニス専門部

期 日 2024(令和6)年 3月20日(水)~26日(火) 7日間

◇団体戦:3月21日(木)~25日(月) 博多の森テニス競技場

◇個人戦:3月22日(金)~26日(火) 博多の森テニス競技場、福岡県営春日公園テニスコート

◇開会式:3月20日(水) 午後4時 博多の森テニス競技場センターコート(予定)

◇表彰式:3月25日(月) 団体決勝戦終了後 博多の森テニス競技場センターコート(団体戦表彰式)

3月26日(火) 個人決勝戦終了後 博多の森テニス競技場センターコート(個人戦表彰式)

会 場 ◇団体戦、個人戦:博多の森テニス競技場「サンドフィル」(福岡市博多区東平尾公園1-1-1)

個人戦:福岡県営春日公園テニスコート「サンドフィル」(福岡県春日市原町3-1-4)

競技規定 JTA テニスルールブック2023に準ずる。

競技方法 ①団体戦は男女とも7人から9人の登録で単3、複2 の対抗戦で行う。トーナメント方式。

※出場選手は単複を兼ねられない。

※試合はシングルスNo.1、ダブルスNo.1、シングルスNo.2、ダブルスNo.2、シングルスNo.3 の順に行う。

※部員数が7名に満たない場合は4名以上で別途定める細則に則った不戦敗規定を条件に参加を認める。

②団体戦は男女とも1・2RIは1セットマッチ(6オール後タイブレーク)、3R・QFは8ゲームプロセット(8オール後タイブレーク)、SF・Fはベストオブ3タイブレークセットとする。

③個人戦男女ともSF・Fはベストオブ3タイブレークセットとし、他は全て8ゲームプロセット(8オール後タイブレーク)とする。

※天候等により試合方法を変更することもある。

引率・監督 ①引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。

個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

また 校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。

②監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

但し、都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

参加資格 ①都道府県高等学校体育連盟に加盟する高等学校で、本大会の地区大会で選出、都道府県高等学校体育連盟テニス専門部より推薦され、学校長が出場を認めた者。(選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。それ以外の生徒については、別途定める規程に従い大会の参加を認める。)

②参加校の生徒は1、2年生で、平成17年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。

③参加する生徒は、あらかじめ健康診断を受けること。

④選手は都道府県大会・地区大会において登録されていない選手でも登録可能だが、大会開催中に他の大会

に出場していないこととする。

ただし、本大会の共催団体である(公財)日本テニス協会や協力団体の主催大会および該当大会の地域・都道府県予選の出場による本大会の都道府県大会・地区大会の不参加は許容する。

#### 【許容大会】

- ・ユニクロ全日本ジュニア選手権2023
- ・第44回全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
- ・2023 U15全国選抜ジュニアテニス選手権大会(第42回中牟田杯)
- ・MUFG全国ジュニアテニストーナメント2023
- ・大阪市長杯2023世界スーパージュニア
- ・ジャパンオープンジュニアテニス選手権大会2023

なお、この件が起り得る場合は、直ちに全国選抜高校テニス大会実行委員会事務局長 兵藤直樹 宛てに、選手名・大会名・主催者・開催日などの報告(連絡)をすること。また、この件に関して質問がある場合は、事務局に問い合わせること。

※個人戦のみの参加選手は都道府県大会のみの参加でも可。

- ⑤海外遠征(「全米オープンJr 予選WC」、「日韓中ジュニア交流競技会」)の出場権を得た選手は、当該大会及び以後の高等学校体育連盟が主催する大会に参加しなければならない。

参加制限 団体戦:男女各48校

個人戦(全米オープンJr 予選WCをかけた予選大会): 男女各96名以内

- ・団体戦に出場した学校の登録No.1の選手男女各48名
- ・①②の要件を全て満たす都道府県推薦選手男女各47名以内
  - ① 各都道府県の定めた選考方法により第1位となった選手
  - ② 団体戦に出場しない学校の選手
- ・福岡県特別枠推薦選手男女各1名

参加申込 ①参加希望校は全国選抜高校テニス大会の公式ホームページよりダウンロードしたエクセルファイルで参加申込書と、自校推薦書を作成し、1月10日(水)までに都道府県高等学校体育連盟テニス専門部委員長(以下、専門委員長)へプリントアウト後、捺印した本紙を提出。また、入力したエクセルデータをeメールにて全国選抜高校テニス大会実行委員会事務局へ1月10日(水)までに提出のこと。

※参加申込書は12月1日に大会ホームページにアップ予定

※個人戦のみの参加希望校の自校推薦書は不要

#### 【書類作成・提出の手順】

1. 全国選抜高校テニス大会の公式ホームページ(<http://www.senbatsutennis.com>) にアクセスし、「大会概要」の中にある「競技規定」欄の「参加申込書のダウンロード」をクリックし、パソコンに申し込み用紙を保存。
2. 保存したエクセルファイルを開き、記入例を参考にしながら、もれなく入力。
3. 入力し終わったエクセルファイルは「名前を付けて保存」を選び、ファイル名の末尾に学校名を書き添えて保存。
4. 保存した申込書、自校推薦書に間違いがないことを確認し、1部印刷して捺印後、指定日までに専門委員長へ提出。
5. 提出した申込書、自校推薦書のエクセルデータをeメールに添付し、実行委員会事務局へ送信。

【全国選抜テニス大会実行委員会事務局 e-mail アドレス jimukyoku@senbatsutennis.com】

- ②専門委員長は申込書、自校推薦書を確認の上、1月17日(水)までに地区常任委員へ提出のこと。

※申込用紙の学校長印、専門部長(専門委員長)印には必ず公印を使用のこと。それ以外は受け付けない。

- ③地区常任委員は1月23日(火)までに捺印した申込書、自校推薦書の本紙を事務局長へ、そのコピーを日本旅行内事務局へ提出のこと。

◇〒874-0903 大分県別府市野口原3088-91 大分県立別府翔青高等学校

全国選抜高校テニス大会実行委員会 事務局長 兵藤 直樹

《TEL 0977-22-3141 FAX 0977-22-3142》

◇〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル5階 株式会社日本旅行九州法人営業部

全国選抜高校テニス大会実行委員会 事務局 担当:田坂

《TEL 092-451-0633 FAX 092-451-0550 e-mail jimukyoku@senbatsutennis.com》

④申し込み後の変更は一切認めない。ただし、特別な事情により、出場登録の抹消や主将を変更する場合は前述した、全国選抜高校テニス大会実行委員会 事務局長と日本旅行内事務局の2箇所に事前に届出を行うこと。

団体戦参加料 40,000 円

個人戦参加料 4,000 円 ※団体戦出場選手も必要

※1月28日(日)の選考委員会で出場決定後、出場校へ送付する案内にある実行委員会の口座に2月22日(木)までに振り込むこと。依頼人名には学校名と男または女を記入して下さい。男女合わせても可能です。

※大会が中止になった場合、一部経費を除いて返金する。

使用球 ウィルソン「US OPEN エクストラ・デューティー」

疾病・傷害 競技中の傷害などについては主催者で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。また健康保険証を持参すること。

#### 表彰【団体戦】

男女優勝校に大会実行委員会の優勝旗及び賞状、日本テニス協会の優勝旗及び賞状、文部科学大臣杯と賞状、古賀杯、メダル。2・3 位校にトロフィー及び賞状、メダル。

開会式で前年度男女優勝校に文部科学大臣代杯を授与する。

#### 【個人戦】

男女優勝者に優勝盾及び賞状、メダルを、2・3 位選手に賞状、メダルを授与する。

諸会議 ①選考委員会 1月28日(日)午後1時 博多の森テニス競技場

②組み合わせ抽選会 2月23日(金)午後2時 博多の森テニス競技場

③全国委員会 3月20日(水)午前9時 博多の森テニス競技場

④監督連絡会 3月20日(水)午後3時 博多の森テニス競技場

宿泊 宿泊については必ず(株)日本旅行九州法人営業部に申し込み、規則を遵守すること。

※注意事項は、別途発表いたします。

2023年 8月 1日